

キラット さん



秋田看護福祉大学

学長 佐々木 英 忠 さん

4月1日、これまでの秋田桂城短期大学が、4年制の秋田看護福祉大学になりました。今回は、秋田看護福祉大学の初代学長佐々木英忠さんを紹介します。

佐々木学長は、阿仁町の出身です。秋田高校から東北大学医学部へと進み、以来、昨年12月に医学部教授を退官するまで、一貫して東北大学で医療に携わってきました。専門は、肺などの呼吸器で、特に高齢者の医療に造詣が深く、日本呼吸器学会や日本老年精神医学会など多数に所属しています。また、高齢者の介護や、肺炎予防などをテーマにした講演依頼が全国からあり、多忙な日々です。初代学長としての抱負を伺いました。「経済が安定し、貧困から脱した現代社会では『健康問題』

がキーワードになると思います。これまで、健康問題は病院、医者が扱うものというイメージだったと思います。しかし、もはや私試（みづしげ）していかねばなりません。例えば、高齢者向けのデイサービスでは、家事援助や入浴サービスもすることながら、転倒予防のための昇降運動や身体機能回復訓練などを行っています。こうした福祉の分野での健康問題への対処が、今後重要視されてくるのではないのでしょうか。

看護福祉への取り組みは、まだ始まったばかりなので、全国的にもノウハウなどはほとんど無いに等しいと思います。将来は、この秋田看護福祉大学から全国に向けてノウハウを発信し、社会に貢献していくことができれば最高だと

思っています。

私は、学生に対し知識だけを身に付けて欲しいとは思いません。考えることを大事にし、自分で考える力を養って欲しいと思います。そのために、教官自身が技術や知識を教えるだけではなく、学生自ら考えることを学ばせる方法に身に付けなければなりませんし、それを慕って学生たちが集まってくるような、そんな大学になるように、私たち教官自身の意識改革も必要になってくるものと思います。

学生たちは、県内ばかりではなく、全国から集まってきます。市民の皆さんには、まだまだ発達途上の学生たちを、温かい目で見守って欲しいと思います。

学長への就任が決まり、久々に阿仁町を訪れたら、雪が1・6mほど積もっていました。大館は50cmぐらいでした。仙台での暮らしが長かったので、これぐらい積もっているのを見るのは久しぶりでした。故郷の風景には一種のカルチャーショックを受けた」とか。趣味は健康のために始めたという、ゴルフ。かつてはスキーをしていたそうですが、こしばらく遠ざかっています。周囲にスキー場がたくさんあり、また、秋田看護福祉大学には指導員の資格を持った職員もいるので、また始めてみよう」とか思っているそうです。

「大館に来て日が浅いため、まだ分からないことばかりです。これから、できるだけ市内や周辺地域に出て歩き、自分の肌でこの風土を感じて、大館に根差していきたい」と語ってくれました。

所属学会

日本老年医学会 理事長	日本老年学会 理事
日本呼吸器学会 理事	日本東洋医学会
日本臨床生理学会 理事	日本老年精神医学会 理事
日本痴呆学会 評議員	日本内科学会 評議員

委員

文部科学省	日本学術振興会専門委員会 (平成6年～7年、平成14年～)
厚生労働省	中央じん肺審査医 (平成5年～)
厚生労働省	長寿科学総合研究事業事前評価委員 (平成13年～)
厚生労働省	21世紀型医療開拓推進事業評価委員 (平成13年～)
臨床薬理研究振興	選考委員 (平成7年～)
かなえ医薬振興財団	選考委員 (平成7年～)
日本学術会議	癌・老化研究連絡委員会 (平成9年～)